

# その疑問にお答えします！！

## ～大腸がん検診で精密検査になった人へ～

岸和田市では、令和5年度精密検査が必要と判定された人のうち、約6.6%の人が大腸がんと診断され、さらに、その約60.5%の人が早期がんと診断されました。早期発見、早期治療で、大腸がんは約95%完治します。また、大腸がんは、食の欧米化などが原因で、年々増加傾向にあります。精密検査が必要と判定されたら、精密検査を必ず受診してください。

**Q**： 検診で便に血が混ざっていると言われましたが、精密検査を受ける方がよいですか？

**A**： 大腸がん検診は便に含まれるわずかな血液を調べることで大腸のポリープやがんを推定します。大腸がんやポリープ等の大腸腫瘍が大きくなると出血しやすくなります。この検査で（+）となった人の約2～3%の割合で大腸がんが見つかります。がんはなくても約20～30%の割合でがんに変化する可能性のあるポリープが見つかりますので、便に血が混ざっていると言われたら大腸内視鏡による精密検査が必要です。

**Q**： 便の検査で1回しか（+）にならなかったのに、精密検査を受けていません。精密検査を受ける方がよいですか？

**A**： 大腸からの出血が毎日出ているわけではありません。たまたま出血していない日であったり、血液が混じっていない部位から採取した便であれば、（-）になりますので、精密検査をお勧めします。

**Q**： 再度、便の検査をして（-）と言われましたが、精密検査を受ける方がよいですか？

**A**： 大腸がんやポリープがあっても、必ず便に血が混ざるわけではありません。採便方法が不適切であったり病変の小さい場合にも（-）の結果がでる場合があります。便の再検査は確実な検査でない為、精密検査をお勧めします。

**Q**： 痔を以前から指摘されています。それでも精密検査を受ける方がよいですか？

**A**： 痔があるからといって大腸がん検診で必ず便の検査が（+）になるとは限りません。大腸がんやその他の病気がないわけではないので便の検査で（+）と言われたら精密検査をお勧めします。

**Q**： 生理中でした。精密検査を受けなくてもよいですか？

**A**： 一般的には採便日を生理期間からはずすことが必要ですが、生理中の血液が便に混ざることはいずれも少ないようです。念のために精密検査をお勧めします。

※ 大腸がん検診の精密検査は怖いイメージがあると思いますが、医療機関では精密検査の方法や前処置の方法を十分に説明し、受診者の体調等を考慮して適切な検査を勧めますので、安心して受診してください。